

J R 総連の仲間からの呼びかけについて

2024年4月1日付けで「J R 総連の旗のもとに結集する7単組・J R 総連からJ R 東海労の仲間に訴える！」という声明が、J R 北海道労組・J R 東海労組・J R 西労・J R 貨物労組・鉄研労・システム労・聚楽労組およびJ R 総連の総意として発せられました。

J R 総連に加盟する各単組から、私たちJ R 東海労に“J R 総連の旗のもとでともに歩んでいこう”というありがたい呼びかけ文です。

しかし、今更言うまでもなく、私たちJ R 東海労はこれまでもそうでしたが、今後もJ R 総連の一員としてJ R 労働運動の強化発展のために共に闘う決意はいささかも変わりません。これからも東海の地で、あたりまえの労働運動を展開することを通じてJ R 総連運動の発展の一端を担う決意です。

各単組の皆さんのご指摘の通り、労働組合の生命線は「団結」であることは間違いありません。したがって産別組織であるJ R 総連は、結集する加盟各単組に多種多様な意見がある事を認め且つ尊重しながら、忌憚のない議論を交わして、産別として一致できる方針を見いださなくてはなりません。

確かに現在、J R 東海労が進めている闘いに対してJ R 総連から異論が提起され、幾つかの事実認識や闘いの方向性について齟齬が生じていることは事実です。J R 東海労は、この現状を一刻も早く打開するために、J R 総連と、J R 東海労本部、そしてJ R 東海労新幹線関西地本が膝をつき合わせた忌憚のない議論の場を設けることが必要不可欠だと訴えています。残念ながら実現していません。

したがって、事態解決に向け忌憚のない議論の場の実現に向け、J R 総連執行部および各単組指導部の皆さんの御尽力を要請し、今後ともJ R 総連と共に闘う決意を明らかにし、J R 東海労中央執行委員会としての考えとします。

以 上

2024年4月12日

J R 東海労働組合中央執行委員会